

まもろうね セーフティファイブ

子どものやる気

子どもを「一人にさせない」
努力にも限界があります。
「一人になったとき」に備え、
子どもが自分で身を守るための
知識と行動力をつけさせましょう。



セーフティファイブ

- ① ひとりにならない
- ② ついていかない
- ③ おおごえをだす
- ④ ちかづかない
- ⑤ はなしをする

・おうちのひとに
だれとどこであそぶかはなそう



不審者や犯罪者は言葉巧みに誘ってきます。
どんな理由を言われても
断るよう教えましょう。

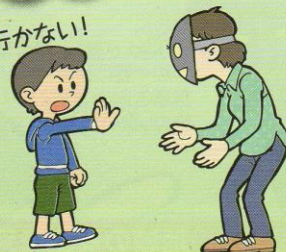
大がいなくなったんだ。
一緒に探してくれない？
(助けを求める)

うちに面白いゲームが
あるんだけど来ない？
(気を引く)

君、かわいいね。
モデルにならない？
(誘惑する)

お母さんが事故に
あった。病院に行こう
(緊急を装う)

行かない!



知識だけでは身を守れません。
叫ぶ、逃げる、などの
「行動できる力」を育てましょう。

「助けを呼びたいのに声が出ない」
「逃げたいのに動けない」では困ります。

- ・実際に大声を出したり、ためらわずに逃げる
ことなどを繰り返し練習させ、また、
そのための気力と「体力」をつけさせましょう。
- ・防犯ブザーを実際に使う練習をさせましょう。



※身の危険を感じて逃げるときは、
ランドセルやカバンなど持ち物を
投げ捨てても良いことを教えましょう。

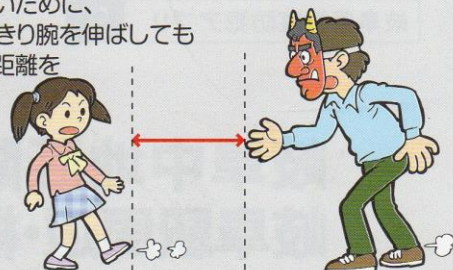
いざというとき逃げ込める場所を確認し、
実際の場面を想定した訓練をさせましょう。

子どもと一緒に、子ども110番の家、交番、郵便局、
コンビニなどに行って、いざというときに逃げ込む
よう、実地に教えましょう。

狙われるのは小さな子どもとは限りません。
小学校高学年や中高生の被害も多く危険です。
また、女子だけではなく男子児童・生徒も注意する
必要があることを教えましょう。

不意に襲われないために、日頃から、
人と一定の距離をとる習慣をつけさせましょう。

急に腕を捕まれないために、
相手と自分が思いきり腕を伸ばしても
届かないくらいの距離を
常に保つよう
体で覚えさせ、
実践させましょう。



子どもの連れ去り防止対策

大切なのは

子どもを守る!

大人の本気



犯罪者が狙うのは、「子どもが一人」になるとき。
保護者の自覚と対応が必要です。

「子どもが一人になる場面」を
できるかぎり
なくしましょう。

- 登下校や通園、通塾
などは送り迎えをする。
- スーパーや公園
などのトイレに
一人で行かせない。



※送り迎えが難しい場合は、
学校や塾に相談したり、
保護者同士連携を取り、
協力しましょう。



地域の安全を見守るアプリ



岐阜県警察
防犯アプリ

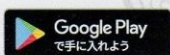
主な機能

- 犯罪情報の地図表示
- 警察施設までのルート表示
- 防犯ブザー など

☆ゲーム感覚で楽しみながら自主防犯活動を!



ダウンロードはこちらから



岐阜県警察防犯アプリ



「ながら」見守りのお願い

子どもたちは「地域の宝」です
その大切な子どもたちの安全(命)を守ることは、
地域の大人の使命ではないでしょうか?

子どもたちの姿を見かけたら

- 庭の掃除や、花の手入れをしながら
- 畑仕事をしながら

おはよう こんにちは おかえり

などと声をかけてやってください。
こうした「ながら見守り」をすることで、
周りの人たちには「この地域では、いつも
子どもたちを見守っているんだな」という
印象を与えることができます。

住民同士の連帯感を高め、見守りの輪を広げましょう。



岐阜中地区防犯協会連合会 岐阜中警察署
岐阜駅周辺・柳ヶ瀬防犯モデル地区推進委員会